

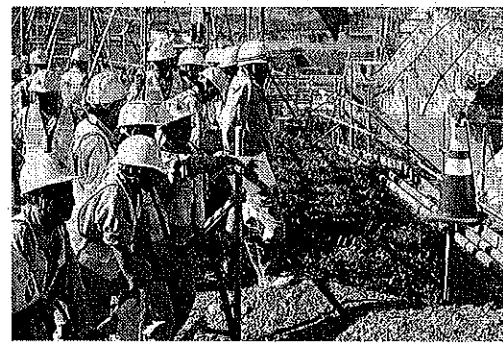
# 厚幌ダムの施工学ぶ

## 札幌工高生招き現場見学会

札幌建協

【苫小牧】札幌建設業協会(岩田圭剛会長)は16日、札幌工高土木科2年生を厚真町内の厚幌ダム建設現場に招き、見学会を開いた。76人の生徒たちはダム本体の打設作業や付け替え道路の橋梁工を見て回り、事業規模の大きさを肌で感じながら、土木の仕事に対する理解を深めた。

「貧し切りバスで厚真町福祉センターに着いた一行は、同校卒業生でもある岡部泰範室蘭建管厚幌ダム建設事務所長から、厚幌ダムの役割や概要などについて講義を受けた。岡部所長は、同ダムに採用した台形CSG型式の特徴について「ブルドーザや振動ローラーなど普通の機械で造れるので合理的」と紹介。生徒からは、使用するコンクリートの量や女性作業員の人

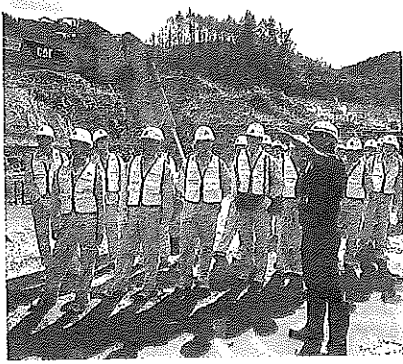


数「ダムが土砂で満杯になつたらどうするのか」など次々に質問が出た。安藤ハザマ・岩田地崎建設・田中組共同体が施工するダム建設現場で、高さ約15mまで達した堤体に立ち、打設の手順などの説明を聞きながら、40tダンプが運んできたCSGを敷きならし、転圧する様子を見学。さらに上幌内早来停線の付け替え道路で上部を施工中の2号橋も視察した。

迫力あるダム建設の様子に見入る生徒たち

建協の村井悟専務理事は「計画、調査、設計、施工と、土木のものづくりにはさまざまな職種の人々が携わっていることを知り、職業選択に役立ててもらえれば」と話していた。

## 札建協が高校生招き現場見学会 厚幌ダムの大きさ体感 土木への理解と関心深め



【室蘭発】一般社団法人  
札幌建設業協会(岩田圭剛  
会長)は十六日、札幌工業  
高校土木科の二年生七十六  
人を招き、建設工事現場見  
学会を開催した。写真。田  
安藤ハザマ・岩田地崎・田

中JVが施工する「厚幌ダ  
ム建設事業ダム本体工事」  
(室蘭建管発注)の現場を  
見学。ダムのスケールの大  
きさを肌で感じるととも  
に、土木に対する理解と関  
心を深めていた。

この日の見学会には、引  
率教諭も含めて八十人余り  
が参加。室蘭建  
管厚幌ダム建設  
事務所の岡部泰  
範所長から工事  
概要等の説明を  
受けたあと、ダ  
ムの堤体内部に  
移動し、実際の  
作業を見学。生  
徒たちは、間近  
で見るダムの迫

力に驚きながらも、真剣な  
面持ちで作業の様子を見つ  
めていた。

見学会終了後、生徒たち  
は「貴重な経験ができた」  
などと感想を述べていた。

同行した札幌協の村井悟専  
務理事は「見学会を通じ、  
ものづくりの素晴らしさを  
感じてもらったのではない  
か」と話していた。